

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（店 長） コンビニ（経営 者） 衣料品専門店 （統括） 通信会社（社 員）	販売量の動き 販売量の動き 販売量の動き 販売量の動き	・3か月前と比べて、販売量の動きが多少良く、売上も前年水準を上回るようになってきている。 ・最近になって、単価の安い物ではあるが、量を多く買う客が増加している。 ・祭専門店が近辺にないことから、関連の品を求めて遠方から来店する客が例年になく多く、祭用品に関しては不況を感じない。 ・10月の携帯電話の加入純増数はそれほど伸びていないが、若者の間ではカメラ付き携帯電話の人気の相変わらず高く、機種変更が増加している。
	変わらない	一般小売店〔家 電〕（経営者）	単価の動き	・低単価の輸入品は売れるが、国内の高付加価値商品の販売は依然として悪く、客単価が上昇する様子はない。単価ダウンから売上が減少し、経営を圧迫するという悪循環はいつまで続くのか、底がみえない。
		百貨店（販売促 進担当）	お客様の様子	・9月に売場企画等で一時的に好調となった売上は、10月に入り、気温が高く低調となっている。トータル買いをする客は少なく、単品買いで済ませている。
		スーパー（店 長） コンビニ（経営 者）	競争相手の様子 単価の動き	・近隣に競合店が進出してきたが、こちらも研究しているの、相手の弱点をついて、今の業績を保つ。 ・各売場で客単価アップ策を打っているが、効果が出ず、ディスカウントしても目的の商品にしか客の目が向いていない。年末年始の予約活動も今一つ盛り上がらない。
		衣料品専門店 （経営者） 乗用車販売店 （経営者）	単価の動き お客様の様子	・売出しをかけても、チラシの目玉商品しか売れない。 ・新型車両の需要はそれなりに出てきているが、中古車については、客が求める価格と販売価格のギャップが大きく、契約に至らない。
		乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・客は相当慎重になっており、同じ車種でも数社から見積を取り、値引き比較をしている。商談も長引いている。
		乗用車販売店 （販売担当）	販売量の動き	・8～10月にかけて中古車主体の展示会を行った。高額車両は売れないが、安い中古車については、この3か月変わらない販売量を確保している。
		その他専門店 〔携帯電話〕 （店長）	来客数の動き	・店頭のを比較して、見るだけで帰ってしまうような客も増加してきている。
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・良い日と悪い日の格差はあるが、良い日が多くなってきている。9月にやや悪かった分が戻って、とりあえず安定している。フリー客が増加しており、今後期待が持てる。
		旅行代理店（従 業員）	単価の動き	・海外旅行は前年度比で徐々に回復しつつあるが、低価格の商品が主流となっている。グループの客単価も上昇していない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・数か月前と比べて、客の動きが悪い。電話か駅待ちの客が、数年前の5～6割になっている。
		観光名所（職 員）	お客様の様子	・紅葉シーズンで、土日祭日は観光客でにぎわっており、レストラン、ホテルも活況を呈しているが、平日は例年に比べ客が少ない。
		遊園地（職員）	単価の動き	・食堂、売店ともに売上が伸び悩み、全体の客単価は対前年比で200円も低下している。
		競輪場（職員）	競争相手の様子	・大きい大会を開催したが、思っていたように売上が伸びず、全般的に停滞気味である。
	住宅販売会社 （経営者） 住宅販売会社 （経営者）	来客数の動き お客様の様子	・現場見学会及びモデルハウスへの来場者数は、3か月前と比べて横ばいとなっている。 ・街中の小さな個人商店が、シャッターを降ろし、歯抜け状態になっている。テナント関係では、事務所の入居率が悪い。引き合い、問い合わせもほとんどない状況で、極端に低い家賃を要求してくる客が来る程度である。	
	やや悪く なっている	商店街（代表 者）	販売量の動き	・10月に入って、季節商品が少し動いているが、全体的にはまだ伸びがみられず、やや悪くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・消費者はニュースに敏感になっており、余分な物は買わない。一方で、女性客はバザーやフリーマーケットに集まり、安い魅力的な商品を探している。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・今年は特にデフレが進んでおり、プレステージ商品を取り扱っているのが厳しい。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・デフレの中で、競合店との価格競争が激化している。週2回の特売イベントに加え、タイムサービス等の企画も行っているため、どうしても客単価、利益の減少は避けられない。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・来客数の増加傾向が続いているが、残暑の影響もあり、秋物の伸びが悪く、衣料品関係の買上点数が減少している。食品は、対前年比でほぼ横ばいである。
		スーパー（経営企画担当）	競争相手の様子	・大手スーパーを中心に、チラシの目玉合戦が一段と激しくなってきた。
		コンビニ（店長）	競争相手の様子	・最近、周辺店舗の移転、閉店がかなり目立ってきている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数は対前年比92%であるが、単価は86%となっている。一品一品をかうのに、客は慎重になっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・セール時を含めて、買上客数が1割程度減少している。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・周辺で倒産やリストラがあり、やや沈滞ムードが漂っている。近隣の道路の交通量も通常よりやや少ない。
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・来客数に大きな変化はないが、今まで安い商品のまとめ買いをしていた客が、まとめ買いをしなくなっている。
		高級レストラン（店長）	来客数の動き	・今年は観光シーズンの終わりに気温が極端に低下し、悪天候が続いたために、客足が極端に落ちている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・毎年、商店街で秋のイベントを開催している。今年は特に多くの来客があったものの、飲食、買物にはつながっていない。
		観光型ホテル（経営者）	お客様の様子	・宿泊客数は前年並みであるが、団体客の減少に歯止めがかからない。館内の土産品等の販売も極端に落ち込んでいる。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・客は料金に敏感になっており、宿泊、懇親会等の金額を返答すると断ってしまう客が増加している。やむを得ず、料金を1割強下げることになった。料金にシビアな客が増加したこと、市内の新しいホテルが低価格であることから、近隣のホテルは混とんとしている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・夜の客がめっきり減っている。飲み屋街に活気が戻らず、終電の後、朝までの仕事はほとんどない。
		設計事務所（所長）	単価の動き	・仕事の受注量が減少しており、仕事があっても単価が低下している。
		住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・非常に安い単価の土地が出回っている。同業でも、相場を大きく下回る価格で土地を販売し、値崩れが進んでいる。
	悪くなっている	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・10月は寒くなり物が売れる時期であるが、今年は学生関係の商品は売れず、末端まで、景気の悪さが染みわたってきている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・昨年は手編みニット展、革工芸展を開催し、ある程度の来客数、売上を確保できたが、今年開催したジュエリー展の実績はゼロに近く、9月に続き店全体の売上が激減している。当社始まって以来の厳しい状態が続いている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・飲酒運転の罰則強化により、極端に客数が減ってきている。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・宿泊単価が5～8百円低下している。宴会、会議等は3～5千円という価格帯で、今までにない極端な値引き合戦となっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宴会場をリニューアルオープンしたが、効果が全くない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・廃業する客や倒産する客が増え、運転資金が足りなくなるような状況になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量 の動き	・自社、同業他社とも、工場見学者数は増加傾向にある。
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・10月はやっと平年並みの売上に戻り、仕事の話も多少出始めてきている。
		広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・年末に向けた販売促進広告が、予想より伸びている。掲載料金はシビアであるものの、6～8月の売上低迷をリカバーするために、飲食店で広告宣伝予算が増加しており、スタッフ確保の求人広告も増加している。
	変わらない	精密機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・受注や販売に若干動きは出てきているが、価格、納期などは一層厳しくなっている。
		建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・発注量は、前年同月比で大幅に減少している。
		金融業(融資担 当)	取引先の様子	・ビルのテナントを管理している取引先の話では、数か月前から入居より退居の方が増え、一気に新しいテナントを探すのも難しく、入居を勝ち取るには賃料を下げざるを得ないとのことである。
		金融業(経営企 画担当)	取引先の様子	・本格的な観光シーズンを迎えて期待していたが、一部に中国人観光客の増加もみられたものの、全体的に客足が鈍っており、旅館、民宿等の宿泊客は減少気味である。反面、外食産業、コンビニの売上は好調で、集客力を高めるために改修工事を行っている取引先もある。
		新聞販売店[広 告](総務担 当)	取引先の様子	・衣料、寝具、ホームセンター関係では、9月の冷え込みで一通り冬物を仕入れたが売行きが悪く、次の仕入れには至っていない。衣料問屋では冬物の話は出るが、様子見に終わっている。 ・チラシの出稿量は依然低調で、10月も前年を2%下回っている。
		その他サービ ス業[情報サー ビス](経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・仕事量の減少から競争が激化し、体力の弱い会社が安値競争に踏み切ったり、余剰人員の仕事量確保のための安値取引が出て、一部の分野で値崩れが見受けられる。
	やや悪く なっている	化学工業(総務 担当)	受注量や販売量 の動き	・売上が落ちてきているため、仕入金額も減少している。支払手形に高額の入印紙を貼る割合が減り、寂しい限りである。
		電気機械器具製 造業(経営者)	競争相手の様子	・自社は何とか仕事量を確保しているが、同業他社では仕事量の少ないところがかかり多い。
		輸送用機械器具 製造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・受注量は対前年比、対前月比で10%程度減少しており、この傾向は続く。
輸送業(営業担 当)		取引先の様子	・今年は暖房器具関係の製品の売行きが前年より悪く、予定より輸送量が少ない。	
その他サービ ス業[放送](営 業担当)		受注量や販売量 の動き	・大手企業の下半期契約は、価格の値引き要求もあり、減少傾向にある。新規のスポットコマースの引き合いが出てきているが、期間も短く、小口化している。	
悪く なっている	一般機械器具製 造業(経理担 当)	受注量や販売量 の動き	・依然として海外生産への移行が続いており、注引量が更に減少している。単価もますます低下している。	
	その他製造業 [宝石・貴金 属](経営者)	受注量や販売量 の動き	・秋口の展示会も今一つ成果が上がっていない。小売店の売上が伸び悩み、一段の仕入制限につながっているため、10月は販売面での落ち込みが大きい。	
	不動産業(経営 者)	競争相手の様子	・採算の取れない価格で仕事を請け負う業者が増加している。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	採用者数の動き	・3か月前よりは仕事はあるが、派遣要員の雇用形態がしっかりしていない。 ・大手企業では、特に仕事量が少ない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規求人は微増であるが、有効求人倍率は、14か月連続で低下している。</li> <li>・就労場所が管轄外、県外となるアウトソーシング企業からの求人が、目立つようになってきている。</li> <li>・求人倍率は若干上昇傾向にあり、企業の求人意欲にも改善がみられるが、時間給のフルタイム非正規従業員、パートタイムの求人が多く、求職者の希望条件とのミスマッチが拡大している。</li> <li>・新規求人数は、3か月前と比べ4.6%減少しているが、対前年比では増加している。</li> <li>・パート、アルバイト求人が4割近くを占めており、資格保有者や経験者を望む求人に対し、求職者の希望がマッチせず、依然として有効求職者数は増加傾向にある。また、規模は小さいものの企業整理による離職が跡を絶たない。</li> </ul>
		職業安定所（職員）	求人数の動き	
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣登録を希望する求職者の数は増加傾向にあり、特に、この2、3か月は、男性の40～50歳代が目立っている。</li> <li>・2～3年前は、男性といえば、若いフリーター希望が主体であったが、最近では、企業のリストラの結果、正社員への道が閉ざされ、派遣に活路を見出さざるを得ない状況から、男性求職者が高齢化している。</li> </ul>
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職安主催による10月開催の来春卒業予定者対象の合同就職面接会において、参加企業は対前年比で70%、求人数は60%程度である。募集職種も、多くの学生が希望する事務職は約30%と少なく、情報、機械などの専門職や自動車ディーラー、建設関係の営業スタッフ等が多くなっている。</li> </ul>
	悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅関連の資材製造では、人員を削減しているが、生産は増えているので、残業を従来の2～3時間から15時間程度に増やして対応している。20代～30代の若年層、40代後半～50代の中老年層の求職者数が増加しており、条件の厳しさがうかがえる。</li> </ul>